

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
國土典宏、幕内雅敏	肝癌診療ガイドライン（2005年度版）	外科	68	168-173	2006
國土典宏、幕内雅敏	特集・肝がん治療のすべて：アルゴリズム（治療選択）	肝胆膵	53	645-651	2006
國土典宏、幕内雅敏	肝癌治療法選択のアルゴリズム	臨床消化器内科	21	1051-1057	2006
和田浩志、永野浩昭、門田守人	肝癌の診療—最新の進歩	臨牀消化器内科	21	1020-1028	2006
江口 晋、兼松隆之	特集 癌に対する低浸襲ならびに機能温存・再建術式-what's proven, what's not-肝臓癌 部分切除	手術	68	39-42	2006
池田健次、熊田博光	肝硬変と肝切除	臨床看護	33	1799-1803	2007
國土典宏、幕内雅敏	特集・外科学の進歩と今後の展望 9. 肝臓外科	外科	69	422-427	2007
青木 琢、今村 宏、國土典宏、幕内雅敏	肝癌の診療に関する最新のデータ	臨床外科増刊号	62	227-243	2007
長谷川 潔、高山忠利、國土典宏、幕内雅敏	特集 II: 肝細胞癌根治後の再発予防: 肝細胞癌切除後の UFT 補助療法の有用性に関する無作為比較試験	消化器科	44	538-542	2007
長谷川 潔、國土典宏、高山忠利、幕内雅敏	肝細胞癌切除後の長期成績向上を目指して III. 術後補助療法 3. 抗癌薬治療（補助化学療法）	外科	69	541-548	2007
佐々木洋、山田晃正、石川 治、今岡真義、永野浩昭、中野博史、清水潤三、大里浩樹、國土典宏	アンケート調査からみた肝癌診療ガイドラインに対する一般医（非専門医）の認識とガイドラインの問題点 —特集 癌診療ガイドラインの功罪—	臨床外科	62	491-498	2007
永野浩昭、丸橋 繁、宮本敦史、武田 裕、小林省吾、梅下浩司、堂野恵三、門田守人	特集 QOL を考慮した高度進行消化器癌手術：切除と再建 7. 下大静脈内に連続する腫瘍栓を伴う肝細胞癌に対する肝右葉切除術.	消化器外科	30	67-75	2007
小林省吾、永野浩昭、丸橋 繁、武田 裕、堂野恵三、梅下浩司、門田守人	治療後再発予防に関する治験. 特集 肝癌診療の最近の進歩と問題点.	外科治療	98	175-177	2008
門田守人	肝癌に対するインターフェロン併用化学療法の基礎と臨床	肝臓病学の進歩	29	39-44	2008

発表者氏名	論文タイトル名	発表雑誌名	巻号	ページ	出版年
藤原研司	QOL の実際	肝胆膵	57	1097-1099	2008
中山伸朗、持田 智、 藤原研司	健康関連 QOL の尺度 疾患特異的尺度 肝癌 QOL 調査票 (厚労省班会議)	肝胆膵	57	1155-1167	2008
永野浩昭、門田守人	インターフェロンの併用動注療法(1)	外科	70	192-196	2008
江口 晋、濱崎幸司、 兼松隆之	B 型、C 型肝炎ウイルス陽性患者に対する肝移植	Pharma Medica	26	41-46	2008
白木 亮、森脇久隆	C 型慢性肝疾患における肥満の検討	消化器科	47	363-368	2008

## 著 書

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版地	出版社名	出版年	ページ
永野浩昭 門田守人	進行肝細胞癌に対する集学的治療. 最新治療シリーズ	戸田剛太郎 沖田極、 門田守人	肝臓病の最新治療	東京	先端医療技術研究所	2006	224-227
中山伸朗 持田 智 藤原研司	QOL からみた RFA 治療	池田健次	「肝癌ラジオ波凝固療法 そのノウハウとエビデンス」	東京	診断と治療社	2007	223-227
池田健次 熊田博光	肝発癌予防	林 紀夫 日比紀文 上西紀夫 下瀬川徹	Annual Review 消化器	東京	中外医学社	2007	123-128
上田佳秀 江川裕人	肝移植後のウイルス肝炎対策	日本肝臓病学会	肝癌診療マニュアル	東京	医学書院	2007	125-128
江川裕人 伊藤孝司 高田泰次 上本伸二	肝細胞癌の生体肝移植	市田隆文	肝細胞癌と肝移植	東京	アークメディア	2007	32-38
石沢武彰 國土典宏 幕内雅敏	原発性肝癌	炭山嘉伸 門田守人 跡見 裕	消化器外科学レビュー 2007-最新主要文献と解説	東京	総合医学社	2007	67-72
長谷川潔 國土典宏	ガイドラインに基づいた治療戦略	坪内博仁	最新医学・別冊 新しい診断と治療の ABC50 : 肝癌	大阪	最新医学社	2007	212-217